会えなくなったあなたへ――

3月11日に掲載

手紙を2月9日まで募集中

東海新報社は、東日本大震災から3月で10年を迎えるにあたり、〝あの日〟から会えなくなってしまった大切なご家族やご友人、近しい人に届けたい「手紙」を募集しています。いただいた手紙は、可能な限り3月11日付の本誌震災特集号で紹介いたします。

震災で亡くなった方、いまだに行方が分からない方、〝あの日〟を境に会えなくなってしまった大切な人へ、ずっと心の中に押しとどめていた思い、毎日語りかけてきた言葉、自身や家族の近況報告、感謝の気持ちなど、伝えたいことを手紙としてしたためてみませんか。

絵手紙、お子さんやお孫さんの絵にメッセージを付けたものなども掲載可能です。

【応募条件と要項】

▽気仙在住または出身の方、ご家族などが気仙にゆかりのある方

▽紙面に文面が掲載されることを了承いただける方で、匿名やペンネームでも構いません（掲載に際しては、確認のためにこちらからご連絡を差し上げますので、お送りいただく際は必ず本名と連絡先を明記してください）

▽封書（はがき）、メールのどちらでも結構です

▽文字数の上限は、400字詰め原稿用紙1枚半程度を目安としてください

▽字句の統一など、こちらで手直しをする場合がございますが、内容は必ずご本人に確認いたします

応募の際には、手紙の最後に①氏名②住所③電話番号④メールアドレス（あれば）――を記入し、東海新報社「手紙」係（〒022・0002 大船渡市大船渡町字鷹頭9の1）または、メールでedi@tohkaishimpo.co.jpまでお送りください。締め切りは2月9日（火）。

問い合わせは、東海新報社（TEL0192・27・1000）編集局まで。

CLT構造 広く公開

三栄工業所 建設中の新社屋で見学会

大船渡

大船渡市赤崎町の㈱三栄工業所（金一磨代表取締役、従業員14人）が建設を進めるCLT（直交集成板）を活用した3階建て新社屋の構造見学会が30日、現地で行われた。主に1、2階部分が公開され、参加者は広い業務スペースを確保できる工法や、森林資源の有効活用を発信した。31日も行われる。

CLTは、ひき板（ラミナ）を並べたあと、繊維方向が直交（クロス）するように積層接着させた木質系材料。3階建ての木造建造物にパネル建材として活用するのは県内でも珍しく、同社では整備効果などを広く発信し、普及・活用に貢献しようと企画した。

事前予約制で行われ、30日には約20人が参加。現在は2階部分の壁材を設置する工事などが終盤を迎えている状況という。

参加者は基礎部分とCLT材の接合や、壁パネルの間に境界梁を設けて高耐力化を図り、広い空間を確保する工夫などに理解を深めた。業務用エレベーターの昇降部分や、らせん階段などにもCLTが生かされる全国でも例がない構造となっており、関心を集めた。

建設には、ジャパン建材㈱（東京都）が施工協力。主に設計部門を担い、見学会の説明役も務めた木構造建築課の並木博一主任は「この地域にはない建物が誕生する。今後も引き続き気を引き締めて携わっていきたい」と話していた。

新社屋の延べ床面積は約980平方㍍。1階には従業員用のロッカールーム、2階には会議室を設け、今夏からの利用開始を見据える。上棟式は2月11日（木）を予定している。

CLT工法による建設現場を公開（電子新聞に別写真あり）

本年度のまとめとなる「KESEN AIR」つくる上で、こうした文化的な活動は一つ一つが大事な役割を持っていると思う。これからも交流が継続され、と期待していた。

の成果報告会を実施する予定。

越戸さんは「震災から10年がたとうとしている中、新しいまちをオンラインだからできること、アーティストの感性だからできることがまちの未来につながっていってほしい」

市に暴風雪警報 た被害なし

29～30日

4地方支部を設置。気仙では大船渡、陸前高田両市が災害警戒本部を設け、情報の収集と対応にあたった。

30日午後3時現在、両市災害警戒本部には人的・物的ともに大きな被害の報告は入っていない。陸前高田市広田町字久保地内では地元消防団が県道のり面での倒木を確認したが、同日のうちに応急済みとなって通行に支障は出なかった。

気仙にかかる公共交通機関は同日、三陸鉄道リアス線の盛駅―釜石駅間で、強風のため午前8時台の列車から午後4時ごろまで運転を見合わせた。JR釜石線の遠野駅―釜石駅間では、始発から上下9本を運休とした。

気象台によると、31日は冬型の気圧配置が緩むため、曇りや晴れとなる見通し。日中の気温は上がらず、大船渡の予想最高気温は2度ほどの見込み。

強風を受け音を立てなびく漁船の旗（30日、大船渡市大船渡町）

2月27、28日にクラフト展

リアスホールで

大船渡市民文化会館自主事業の「おおふなとクラフトワーク展2021」は2月27（土）、28（日）の両日、盛町のリアスホールで開かれる。

入場無料。時間は両日とも午前10時～午後4時。マスク着用と入場時の検温、手指消毒への協力を呼びかけ、発熱などの症状がある人には入場自粛を求める。混雑時は、入場制限を行う場合がある。問い合わせは同ホール（TEL26・4478）へ。